

目黒の学び舎から



聖契神学校ニュースレター No.3 2004年2月25日発行 発行人 関野祐二
〒153-0061 東京都目黒区中目黒 5-17-8 聖契神学校(東横線祐天寺駅、JR 目黒駅下車)
電話 03-3712-8746 FAX 03-3712-8804 郵便振替口座 00190-1-85761 「聖契神学校」

主の聖名を讃美いたします。

いつも聖契神学校のため、お祈りとご支援をいただき、ありがとうございます。

授業合間のチャペルタイムでは、いよいよ「卒業(見込み?)説教」が始まりました。「ギリシヤ語では」とか「並行記事では」など神学生らしい言い回しの奥に、卒業を控えた万感の思いと主の働きへの決意がひしひしと感じられ、胸に迫ります。困難を乗り越え、よくここまで学びましたね、と心の中で拍手を送りたい気持ち。真実にみことばを語りきる働き人になってください。

「みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりやりなさい。」(Ⅱテ行 4:2a)

校長 関野祐二

● 見学者、願書、そして入学試験

献身者の集い以来、見学者が何名か訪れました。土曜午前、私の担当する新約緒論クラスにも二度。いつものクラスそのままでしたがすっかり打ち解け、「この続きを学びたいです」との感想に嬉しくなりました。木曜の神学概論は、元寿司職人のご夫妻が一式持参で見学。授業後、食堂でにぎりたての寿司をご馳走に。これには一同驚きました。毎週見学にどうぞ、との声も。

2月25日現在、願書は7通届いています。週末の締切までには10通を超えるでしょう。聴講からの正規生編入が3名なので、2004年度入学者は久々に二桁となりそうです。各々が独立して献身の召しと教会の推薦を受け、仕事や家庭、経済状況も整えられ受験されてくることを思うと、3月5日の入学試験で皆が集められることに深い主の摂理を覚えます。どうか皆さんが合格され、4月から共に学びを始めることができますように。3月13日はオリエンテーション。

● 別館防水工事完了、&寮の受け入れ準備も

お祈りいただいた、別館屋上の防水工事は、理事会での来年度予算計上承認および前倒し工事発注決定を受け、2月6日(金)~12日(木)に行われました。多くの献金に励まされ、良き業者(営業抜きの職人直接)も備えられ、通常価格の半値(100万円)で5層防水と5年保証。工事期間中雨も降らず、感謝でした。虫歯と同じで、放置しても治る見込みのない雨漏りはこれで解決。梅雨も台風もドンと来い(いや、今度は本館が心配?)。本館は築37年、別館33年目。日頃からメンテナンス費用を積み立てる必要性を痛感した次第です。ささげものに感謝します。

2月16日(月)は、朝から男子寮・女子寮の片付け日。新年度、入寮生が各々複数与えられる見通しなので、それまで使っていなかった居室を受け入れ可能とするためです。荷物を片付け、ベッドや机を皆でヨッコラ搬入。女子寮は2部屋がりっぱな寮室になり、北側のショートステイルームや物干し場も稼動。男子寮は部屋がひとつ増えました。案ずるより産むが易し、我が神学校の寮キャパシティもなかなかのもの。どんな新生が入って来るのか楽しみです。私の心も片付けて器を広げ、どんな人でも豊かに受け入れられるようになりたい、と思いました。

● 斯波先生ありがとうございました

年末のクリスマス会で心に残るメッセージを語られた、牧会学担当の 斯波光正先生が、健康上の理由で退職されることになりました。伝えられた時はショックでしたが、理事会共々主のみこころと受け止めて後任選定に入り、 斯波先生からもご推薦をいただいた、カンバーランド長老教会・高座教会牧師の松本雅弘先生が、2004年度後期より牧会学を担当されることが決まりました。決定までの間、高座教会の長老方・スタッフ・教会員の皆さんの深い祈りと決断、派遣の一致があったことを知り、神学校への温かなご配慮に感謝し、御名をあげました。

2月24日の第2回教師会では、最後となった 斯波先生によるミニレクチャー『最近の日本の教会に影響を与えたムーブメントについて』。「複雑なことを単純に、単純なことを深く、深いことを適用可能に」をモットーとした、とてもミニとは言えない濃い内容に一同圧倒されっぱなし。ご健康が維持され、お働きが支えられるよう祈ります。

● 讚美と「夢響き」と

東京基督教大学特任教授の天田繁先生による、共立エクステンション「より豊かな賛美に生きる」が、1月17日から計5回の土曜日、チャペルを会場に行われ、毎回25名ほどの受講者であられました。神学生も6名受講。校内に響く賛美が日を追って豊かになり、最終2月21日の午後3時、突然お呼びがかかって降りて行ったら、皆が壇上に勢ぞろい。発表会だったのです。最新式エコーマシン「夢響き」がチャペル四隅にデンと設置され、天田師作曲「キリストの愛、我に迫れり」、オリジナル日本語カンタータ、ハレルヤコーラス（私も歌いたかったです）を、わずかな聴衆で満喫。別人のように生き生きした神学生たちの解放された姿が妙に印象的でした。諸教会の祝福となる、このようなプログラムをこれからも継続的に提供できたら、と思います。東京キリスト教学園（TCU、キリ神、共立）とのこうした協力関係の証しでしょうか、3月9日の学園卒業式に、説教者として招かれました。聖契の宣伝ではなくみことばを語ってきます。

● いよいよ卒業式、その後

第51回卒業式は、3月15日（月）午後6時半からチャペルで行われます。専門科7名、基礎科1名の計8名が卒業します。説教者はキリスト教教育担当の杉本玲子師。当日は5時半より同窓会総会も開かれますので、併せてご来校くださり、門出を祝福してください。式後に学生会主催の感謝会もあります。練習に励んでいるようなので、どんなプログラムがお楽しみに。

入学式は4月1日（木）午後6時半です。説教者は教会史担当の丸山悟司師。この夜より、後期授業開始。早速ギリシャ語がスタートします。入学式ならぬ出陣式の勢いですね。

● 聖契神学校の予定と祈りの課題

- ・ 1月13日（火）神学校理事会で、新年度の活動計画と予算が承認されました。この神学校がよりよく神さまに用いられ、諸教会に役立ち、お仕えすることができるように。
- ・ 3月5日（金）の入学試験で、相應しい献身者が多く合格するように。運営委員（勝本、小山田、関野）の働き。卒業を控えた8名の学びと今後の働きのため。在校生の学び。
- ・ 4月からの2004年度授業のため。各担当教師の準備と、学生の学びが支えられるように。退職される 斯波先生のご健康と、後期より牧会学を担当される松本先生の働き。